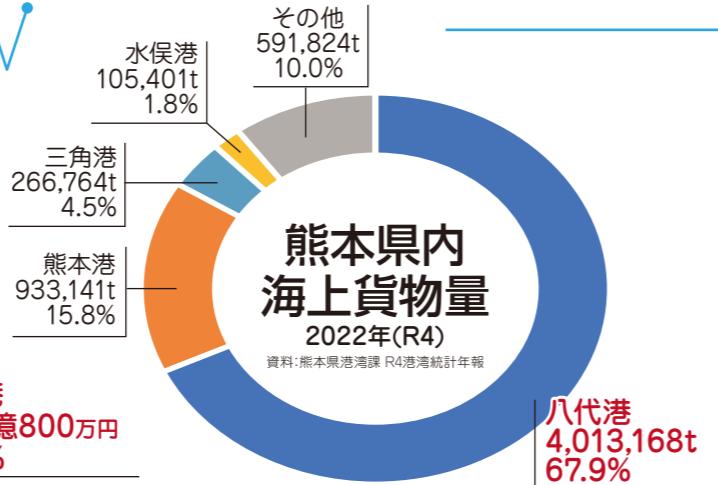
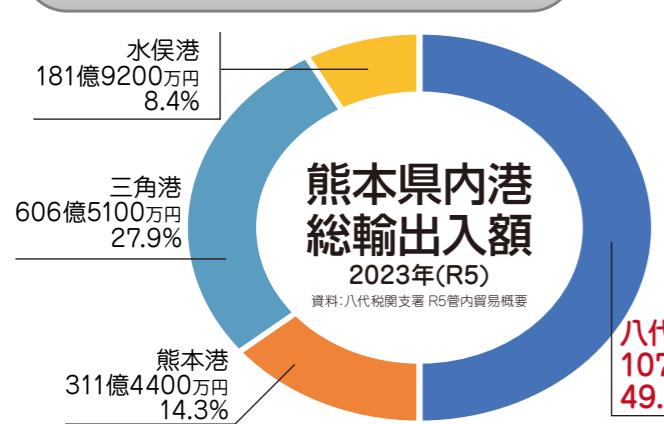
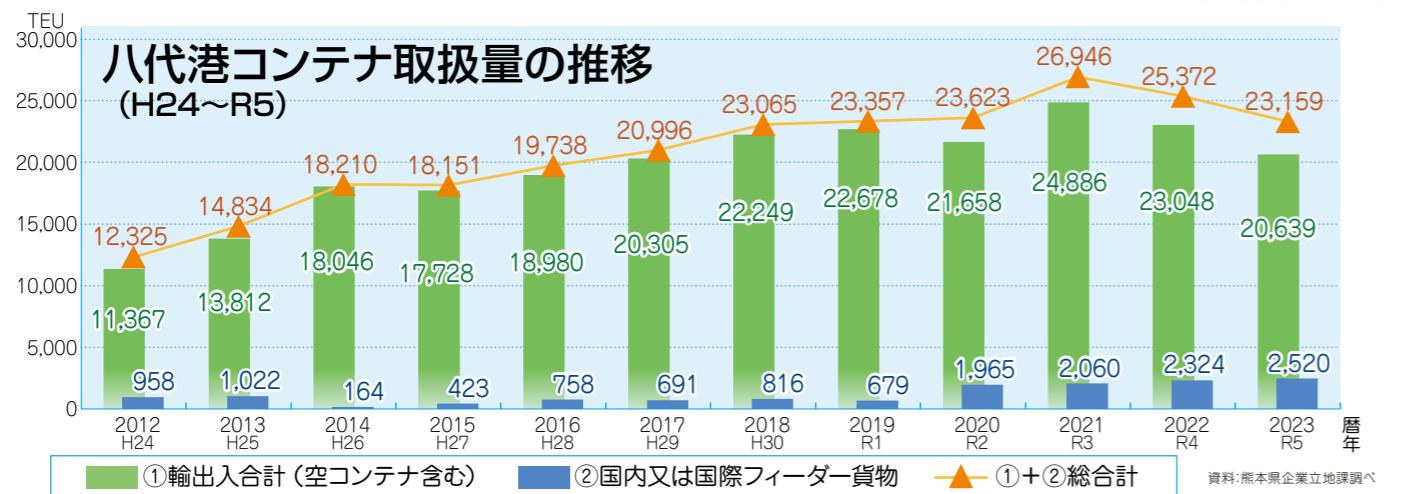


## データで見る八代港



輸出品目ベスト5 2022年	輸出		輸入		
	1位	2位	1位	2位	
一般機械	45億5761万円 (26.0%)	木材及びコルク	穀物及び同調製品 287億7423万円 (36.8%)	大韓民国	オーストラリア連邦
木材及びコルク	30億2124万円 (17.2%)	元素及び化合物	89億5342万円 (11.4%)	中華人民共和国	アメリカ合衆国
鉄鋼	30億1702万円 (17.2%)	石炭、コークス及び練炭	88億6342万円 (11.3%)	インドネシア共和国	ブラジル連邦共和国
その他の化学製品	27億8261万円 (15.9%)	木製品及びコルク製品	85億8333万円 (11.0%)	マレーシア	中華人民共和国
金属鉱及びくず	17億2003万円 (9.8%)	非鉄金属	54億5129万円 (7.0%)	台湾	南アフリカ共和国

輸出入相手地域(国) 2022年	輸出		輸入	
	1位	2位	1位	2位
大韓民国	59億5718万円 (34.0%)	中華人民共和国	180億470万円 (23.0%)	オーストラリア連邦
中華人民共和国	45億2263万円 (25.8%)	アメリカ合衆国	162億5908万円 (20.8%)	大韓民国
インドネシア共和国	17億6104万円 (10.0%)	ブラジル連邦共和国	149億6008万円 (19.1%)	マレーシア
マレーシア	16億780万円 (9.2%)	中華人民共和国	112億5108万円 (14.4%)	台湾
台湾	38億9445万円 (5.0%)	南アフリカ共和国		



八代港利用に係る主な助成制度	1. 八代港国際コンテナ利用拡大助成金	
	新規 利用企業	継続 利用企業
1TEUあたり <b>2万円</b>		1TEUあたり <b>1.5万円</b>
予算の上限なし 神戸国際フィーダー航路も助成対象		
2. 八代港リーファーコンテナ利用拡大助成金		
①半導体関連・化学品		1TEUあたり <b>4.5万円</b>
②農水産品・農水産品加工品		1TEUあたり <b>3.5万円</b>
※②については輸出のみ		
八代港国際コンテナ利用拡大助成金と併用可能		

40ftリーファーコンテナ (1本あたり) (新規)
八代港国際コンテナ 利用拡大助成金 <b>4万円</b>
八代港リーファーコンテナ 利用拡大助成金 <b>9万円</b>
最大助成額 <b>13万円</b>
その他の助成金の詳細はコチラ <a href="http://www.city.yatsushiro.lg.jp/kijii0320798">www.city.yatsushiro.lg.jp/kijii0320798</a>



# みなと新聞

令和6年3月18日発行 第23号

**台湾国際コンテナ航路  
サービス改編**

八代 那覇 志布志 基隆 台中 高雄 那覇 志布志 八代

**台湾航路**  
日曜・水曜運航  
台湾への輸出3日  
台湾からの輸入5日  
釜山への輸出1日

八代港に就航している台湾国際コンテナ航路 [運航会社: 愛媛オーシャン・ライン(株)] のサービスが大きく改善されました。令和5年8月から台湾航路のルート上で八代港に2回寄港するダブルコールが開始され、台湾から八代への輸入にかかる日数が大幅に短縮しました。更に、令和6年1月の航路改編では釜山への輸出が1日に短縮しており、既存の韓国航路と併せて利便性が大きく向上することが期待されています。

令和5年12月8日  
八代～台湾航路に新たに投入された「ITX-HIGO」の初寄港の様子

## 国際コンテナ定期航路

航路名	便数	運航船会社	船舶代理店
韓国航路	週1便(火)	高麗海運(株)	日本通運(株)八代支店 0965-37-0011
	週1便(木)	長錦商船(株)、興亞LINE(株)	松木運輸(株) 0965-37-1101
台湾航路	週2便(日・水)	愛媛オーシャン・ライン(株)	八代港湾倉庫(株) 0965-37-1355
国際フィーダー航路	週1便(土)	OOCL (内港: 井本商運(株))	日本通運(株)八代支店 0965-37-0011

## コンテナ輸出入に関するご用命は…

(株)上組 福岡支店 八代出張所	0965-37-3565	パシフィックグレーンセンター(株) 八代支店 0965-37-3241
九州紙運輸(株) 八代営業所	0965-46-5220	松木運輸(株) 0965-37-1101
(株)ジェネック 八代営業所	0965-37-3541	八代港運(株) 0965-37-3111
日本通運(株) 八代支店	0965-37-0011	八代港湾倉庫(株) 0965-37-1355

(50音順)

## 八代港港湾振興協会通常総会

令和5年5月30日



八代グランドホテルにて、通常総会を開催しました。正会員49団体、特別会員13団体が出席した本年度の総会では、「南九州のゲートウェイ国際港湾八代港」を目標に、引き続き八代港の利用促進・利便性向上を図っていくことに加え、海外等との交流促進及び物流・人流の発展に向けた取組みを進めていくことが採択されました。

また、通常総会終了後の交流会には約70名の参加があり、会員企業であるメルシャン株式会社 八代工場の新商品「米芳醇」の試飲も行われました。

## みなとのおしごと見学会

令和5年7月27日



7月27日、当協会主催による「みなとのおしごと見学会」を開催しました。本年度は一般社団法人日本中小型造船工業会様及び海と日本PROJECT(一般社団法人日本財団)様との共同事業として実施し、市内の親子23組(51名)が港湾地区の企業をめぐり、港湾地区の様々なおしごとへの理解を深めました。

今回は八代港コンテナターミナル(指定管理者:松木運輸株式会社)様、大東商事株式会社八代工場様、熊本ドック株式会社様の3社にご協力いただき、参加した子どもたちは初めて目にする様々なおしごとに興味津々の様子でした。



## 八代港整備に向けた要望活動

国(国土交通省)・熊本県 令和5年7月・9月・11月

当協会並びに八代市や港湾利用企業の代表者により、国(国土交通省)・熊本県に対して以下の項目について要望活動を実施しました。

### 【国(国土交通省)に対する要望内容】※11月要望書原文

- ①水深14m航路の早期完成を図ること
- ②加賀島地区への水深12m岸壁の早期事業化を図ること
- ③港湾計画の早期見直しに向けた技術的な支援を行うこと

### 【熊本県に対する要望内容】※7月要望書原文

- ①水深14m航路の早期完成に向けた支援継続
- ②コンテナターミナルの付帯施設等の充実
- ③円滑な荷役環境の早期整備
- ④加賀島地区の有効活用
- ⑤クルーズ客の観光ルートとなる臨港道路の補修促進
- ⑥新規航路誘致及び既存航路拡充のための支援



## くまモンポート八代 完成記念式典

令和5年9月28日



くまモンポート八代完成記念式典が9月28日にくまモンポート八代で開催されました。新型コロナウイルスの影響で約3年半延期されていた式典でしたが、当日は国や県、市などの関係者ら約130人が出席し、念願のグランドオープンとなりました。この日は、ロイヤル・カリビアン社のクルーズ船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」が寄港し、大漁旗を掲げた漁船や秀岳館高校生による雅太鼓で乗船客をもてなしました。



## 第33回みなと八代フェスティバル2023

令和5年10月29日

「第33回みなと八代フェスティバル2023」がくまモンポート八代をメイン会場に開催され、約1万3,000人が来場しました。

会場内では、海上保安庁の巡視船「あさなぎ」や海上自衛隊の護衛艦「のしろ」、国土交通省海洋環境整備船「海煌」の一般公開のほか、モーターボートやヨットの体験クルージングなどが催されました。

その他、くまモンポート八代内では、陸上自衛隊装備品展示のほか、消防車やパトカーなどのはたらきかい展、グルメや物産ブースなどもあり、多くの人にぎわいました。



## 協会主催で人材確保のためのセミナーを開催

### 中小企業のための採用強化ワークショップ

令和5年11月22日・30日

11月22日と30日の2日間にわたり、八代圏域産業振興協議会と合同で「中小企業のための採用強化ワークショップ」を開催しました。

今回のワークショップには、採用支援に関するプロジェクトを多数手がける、株式会社カウテレビジョン様を講師にお招きし、「自社の魅力をいかに伝えるか」といった視点で講義が行われ、2日間の講習の中で参加企業の課題を洗い出し、具体的な取り組みを検討するという構成で実施されました。



## 熊本県ポートセミナーin神戸

令和6年1月29日

兵庫県神戸市(神戸ベイシェラトンホテル)で、「熊本県ポートセミナーin神戸」が開催されました。セミナーでは、蒲島知事による県内港の紹介があり、続けて中村市長による八代港の概要や助成事業についてのプレゼンテーションが行われました。その後、ジャパンマテリアル株式会社、三井化学株式会社による八代港の活用事例をご紹介いただき、八代港の魅力を余すことなく発信することができました。

5年ぶりの県外開催となった今回は、170名を超える参加があり、大変有意義なセミナーとなりました。



## 工業団地整備



令和5年12月6日の熊本県議会定例会一般質問において、知事は県内の企業進出需要の高まりへの対応を図るため、新たな工業団地を八代地域に整備する意向を明らかにしました。かねてより新工業団地の整備に

向けて取り組んでいた八代市にとっては大きな追い風となることから、八代市も県の計画への全面協力を表明。新工業団地の整備により、物流拠点である八代港の更なる利活用拡大に期待が高ります。